

<京都生協乙訓エコクラブ>

『フードマイレージの学習会』アンケートのまとめ

2013. 11. 2(土) 10:00~12:10 コーポながおか

★参加者⇒16名(子ども3名、大人13名)

★講師⇒京都府地球温暖化防止活動推進センター：西澤浩美さん

◇フードマイレージについて、全然知らないことばかりで勉強になりました。買物ゲームの昔の冬チームの日本地図を見ると、海外のものもなく、近くの産地の物ばかりでした。今と昔を比べると、昔は近くから運ばれていたけど。今は遠くから運ばれてくるものの方が多かったです。私も大人になったら、少し値段が高くて、フードマイレージの低い物を買いたいと思いました。そして、この話を知らない人に、よく知ってほしいと思いました。

◇ゲーム楽しかったです。ゲームをしながら、地産地消についてわかりました。乗用車が一番二酸化炭素を出すので、あまり乗用車は使わず、徒歩・自転車で買い物をし、買い物をする時は、なるべく値だんを見ずに、産地を見ます。

◇ゲームの、お金と星の数をせいりするのが、おもしろかったです。あとポスターにもせいりするのが、おもしろかったです。あと日本地図に食さいを、はるのと、こうそくどうろの地図をはるのが、おもしろかったです。

・勉強になりました。買物ゲームなどは子どもにもわかりやすく、とても良かったです。普段から旬のもの、地元のものを選んでいますが、お店で購入の時は“選べない”ことも多々あります。店も、私たちも地球の為に努力が必要だと感じました。出来る限り、未来のために努力をしていきたいです。

・ゲームが結構おもしろかった。消費者である私達の買物が、生産者を左右するところも大きいので、考えさせられました。身近なことなので、値段にとびつかず、一呼吸おいて買物したいです。

・野菜などは産地を選ぶことが、今はむづかしい。以前の学習会と内容は似ていたが、再認識でき良かった。子供さんの参加があったのが、うれしかった。

・ゲームを通して、毎日の食事の食材選びにより、フードマイレージに大きな違いが出るのがよくわかりました。どうしても価格がネックになりがちですが、私たち消費者のお買い物行動により、生産や流通の方面への好循環作りにもつながっていくことが学びました。1人1人の力は小さいですが、その小さな力の積み重ねが、社会を変えていけるのだということがわかる仕組み、教育が重要だと思いました。そのためにも、今回のような学習会は本当に大切だと思います。長岡京市では、学校給食の現場でも、様々な努力がされていることもわかり、素晴らしいと思いました。京都生協も、できることを、どんどん形にしてほしいと思います。

・旬の食物を食べるように日頃心がけています。改めて日本の食が、外国からの輸入に依存しているかを再認識しました。よく消費者が考えて買わなくてはと思いました。

- ・ゲームをしながらフードマイレージについての学習、楽しかったです。子供さんの参加もあり、積極的な発言もあり、いい学習会だったと思います。食品を買う時、また一つ、考えて行きたいと思います。旬の物、地産地消を考えていきたいと思っています。
- ・昔と現代とでの比較があって、おもしろかったです。日本の、特に都心の自給率の低さにびっくりしました。いろいろなお話が聞けて、とても良かったです。ありがとうございました。
- ・“カタカナ”で言われるとわからない。日本字はわかります。産地も、つい毎日のことで忘れがち～。サイフと相談しながら考えていきます。
- ・子供さんがいたことで、楽しい気持ちで学習できた。でも、これからも、もっともっと、意識を高くもって、買い物しようと思いました。
- ・楽しく学べました。子ども達の参加もありよかったです。よく考えて、買い物しようと思いました。京都の自給率13%、作る人は老いる、どうなるの？
- ・大変いいお話でした。有難うございました。でも、買物がますます、むつかしく感じてしまいました。
- ・毎日のお買物は、値段ばかりを気にしていましたが、フードマイレージの事も、考えたいと思います。

(以上、15枚の提出がありました)



(1970年冬にカレーを作るには…)



(2008年夏の献立を考えます)



(予算内でどの食材にしようかな)



(地図で産地を確かめました)



(フードマイレージで献立を評価すると…)